

暑さ、乾燥、豪雨 土づくりで備えよう

6月号



Vol. 010

# 昭和肥料ニュース FAX版

6月も半ばを過ぎ 急に暑い日が増えてきました。気象庁から向こう3か月間は高温傾向であることが発表されており、今年も高温への備えが「勝負の分かれ目」になりそうです。

## 水稲の夏バテ対策、これからできること

水稲の暑さ対策では、夕方以降の水換えなどの「水管理」が基本になります。施肥では「ケイ酸補給」が基本であり、最重要ポイントになります。

作業面から、ケイ酸は基肥でタツプリ施用することがベストです。施肥不足であれば今後の高温に注意が必要です。（有機物を施用した圃場では分解物や分解する微生物から発生する炭酸ガスにより、ケイ酸の溶けが良くなりますし、地温の上昇でも溶出は増えます。つまり、土づくりが大切です。）

ケイ酸のほかにも、食味向上・粒張り向上・倒伏軽減には即効性カルシウムが有効で、追肥施用が間に合います。倒れにくく高温に強い品種が開発されていますが、毎年为天候は荒れる一方で台風の大型化しており、回数も増えています。カルシウムの有効性を見直してみたいでしょうか？

## アオミドロ、表層剥離への対策

発生が多く各地で問題となっています。初期が低温であったこと、肥料の蓄積（リン酸、窒素）による圃場水の富栄養化が主な原因である説が有力です。土づくりが徹底された圃場では、ほとんど出ない事例も多く報告されており、来月号にてとりあげたいと思います。

### スタッフ通信

弊社スタッフの近況や  
つぶやきをご紹介します♪

生産部の石崎さん に聞いてみた  
自分が作る製品の効き目を知りたく始めた家庭菜園も今年で5年目。順調に生育しているそうです。（自社製品以外もいろいろ試し、話題が付きません。今年にはトマトを極めたいとのこと・・・）  
製品の品質には一切の妥協をしない「職人」の石崎さん、弊社製品の品質を支える柱の一人として社内でも一目置かれる存在です。

**粒状 ジブライト**  
健康な土！健康な作物！！

どんな作物にも使えます  
作物がよく育つ3ステップ

主成分 Ca+S  
植物が健康に育つ  
収穫がよくなる  
肥料がたまる  
肥料がたまる  
肥料がたまる

成分含有率 (%)	
成分	含有率 (%)
Ca	80
S	35
窒素	15
リン	7
カリ	1
マグネシウム	0.5
亜鉛	0.03
銅	5

20kg ポリ袋 製造元 昭和肥料株式会社

出穂45日前に  
反2袋で倒さない

下位節間を伸ばさない。蛋白を下げ食味向上。高温期でも作物の勢いを維持するには「カルシウム追肥」が有効です。



お問い合わせください HPアドレス <https://showa-f.co.jp>

TEL 0766-67-2700 FAX 0766-68-1227